

令和4年1月31日

埼玉県景気動向指数（令和3年11月分）の公表について

1 基調判断

- 景気動向指数（CI 一致指数）は、足踏みを示しています。

2 指数の動き

- 11月のCIは、先行指数：131.8、一致指数：82.1、遅行指数：85となりました。
(平成27年=100)
- 先行指数は、前月と比較して6.8ポイント上昇し、3か月連続の上昇となりました。
3か月後方移動平均は、4.2ポイント上昇し、2か月連続の上昇、7か月後方移動平均は、1.83ポイント上昇し、15か月連続の上昇となりました。
- 一致指数は、前月と比較して1.1ポイント上昇し、2か月連続の上昇となりました。
3か月後方移動平均は、0.6ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は、0.47ポイント下降し、2か月ぶりの下降となりました。
- 遅行指数は、前月と比較して1.8ポイント下降し、3か月ぶりの下降となりました。
3か月後方移動平均は、0.23ポイント上昇し、5か月連続の上昇、7か月後方移動平均は、0.06ポイント上昇し、2か月連続の上昇となりました。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

| 寄与度がプラスの系列 | 寄与度 |
|------------------------|-------|
| C6: 県建築着工床面積(非居住用) | 0.72 |
| C8: 県生産財出荷指数 | 0.34 |
| C9: 県耐久消費財出荷指数 | 0.28 |
| C3: 県投資財出荷指数 | 0.18 |
| C4: 県有効求人倍率(除学卒) | 0.05 |
| C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル) | 0.03 |
| 寄与度がマイナスの系列 | 寄与度 |
| C1: 県生産指数(製造工業) | -0.37 |
| C7: 県百貨店・スーパー商品販売額 | -0.17 |
| C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計) | -0.01 |

※各個別系列のウェイトは均等です。

埼玉県景気動向指数について（参考）

1 景気動向指数とは

- 経済の各分野を代表し、景気に反応する複数の指標を合成・指数化して作成します。
- 景気に先行する先行指数、景気に一致する一致指数、景気に遅れて動く遅行指数があります。

2 作成方法

- 国（内閣府）の景気動向指数の作成方法に準じて作成しています。
 - ※ ただし、作成に使用している統計指標が国と埼玉県では異なりますので、数値の単純な比較はできません。ご注意ください。

この統計に関するホームページアドレス
『彩の国統計情報館』埼玉県景気動向指数のページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/keiki-doukou-shisuu2.html>